

県内企業の夏のボーナスは前年比 4.7%増、3年連続で増加

———埼玉県内企業 2018年夏のボーナス支給状況アンケート調査 ———

2018年夏のボーナス支給状況について、県内企業へのアンケート調査を実施した。一人当たりボーナス支給額は前年比4.7%の増加となった（7月中旬実施。対象企業961社、回答企業221社、回答率23.0%）。

○2018年夏のボーナス支給総額を支給対象人員で割った、一人当たり支給額は501,142円となり、前年実績の478,624円に比べ4.7%の増加となった

（ボーナス支給実額を記入いただいた企業164社を集計）。

企業業績が好調なことに加え、人手不足への対応もあるとみられ、昨年夏の前年比+1.7%を上回り3年連続の増加となった。

業種別にみると、製造業では589,550円と、前年比8.6%の増加、非製造業では451,900円で前年比2.2%の増加となった。金額、増加率とも製造業が非製造業を上回った。

○アンケート回答企業の2018年夏のボーナス支給総額は前年比4.5%の増加となった。昨年夏の前年比+4.3%を上回り、3年連続の増加となった。

支給対象人員は前年比0.2%の減少となり支給総額の増加率は一人当たりの増加率を下回った。

○2018年冬のボーナス支給予定については、2017年冬のボーナスに比べて、「増加」21.2%、「変わらない」63.1%、「減少」10.1%、「支給しない」5.5%となり、「増加」としたところが「減少」としたところを上回った。今冬のボーナスについても、引き続き「増加」を予定しているところが多い。業種別では、製造業で「増加」とするところが多かった。

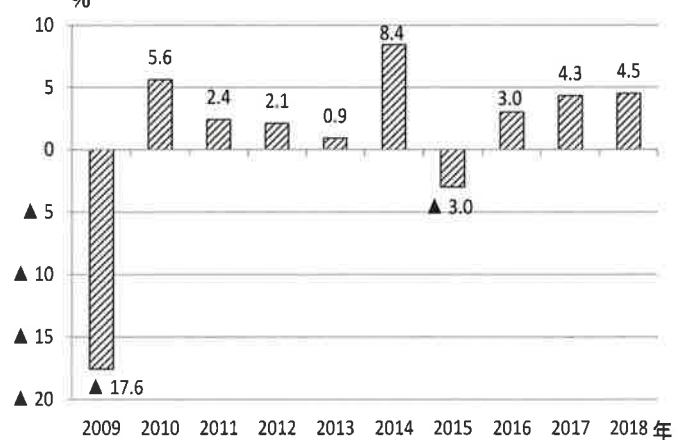
（照会先 吉嶺）

2018年夏のボーナス一人当たり支給額

（社、円、%）

	企業数	一人当たり支給額		
		2018年	2017年	前年比
全産業	164	501,142	478,624	4.7
製造業	63	589,550	542,860	8.6
非製造業	101	451,900	442,353	2.2

夏のボーナス支給総額(前年比)の推移



2018年冬のボーナス支給予定

単位：%

	増加	変わらない	減少	支給しない
全産業	21.2	63.1	10.1	5.5
製造業	32.5	55.0	6.3	6.3
非製造業	14.6	67.9	12.4	5.1

2018年夏のボーナス支給状況について

2018年夏のボーナス支給状況について、県内企業へのアンケート調査を実施した（対象企業961社、回答企業数221社、回答率23.0％）。

（1）ボーナス支給実績の有無

2018年夏のボーナスの支給実績をたずねたところ、「正社員・パートともに支給」と答えた企業は全体の52.5％で、2017年夏の支給実績52.5％と同じであった。これまで、「正社員・パートともに支給」の割合は増加し、支給対象は広がってきたが、今回調査で横ばいとなった。また、「正社員のみ支給」とした企業は41.2％で前年実績の40.3％から0.9ポイント増加した。「支給しない」とする企業は6.3％となり、前年実績の7.2％から0.9ポイント減少し、支給しない企業の割合は小さくなっている。

業種別にみると、「正社員・パートともに支給」と答えた企業は、製造業では69.1％、非製造業では42.9％であり、製造業で割合が高くなっている。前年実績と比較すると、製造業では0.8ポイントの増加、非製造業で0.3ポイントの減少となった。非製造業は製造業に比べ、「正社員のみ支給」とするところが引き続き多い。

また、「支給しない」は製造業で4.9％、非製造業で7.1％であり、非製造業で割合が高いが、両業種とも前年に比べて減少している。

2018年夏のボーナス支給実績の有無

(%)

	合 計	製造業	非製造業
正社員・パート ともに支給	52.5 (52.5)	69.1 (68.3)	42.9 (43.2)
正社員のみ支給	41.2 (40.3)	25.9 (25.6)	50.0 (48.9)
支給しない	6.3 (7.2)	4.9 (6.1)	7.1 (7.9)

() 内は2017年実績

（2）一人当たりボーナス支給額

2018年夏のボーナス支給総額を支給対象人員で割った、一人当たり支給額は501,142円となり、前年実績の478,624円に比べ4.7％の増加となった（ボーナス支給実額を記入いただいた企業164社を集計）。

景気の緩やかな回復が続くなか、企業業績が好調なことに加え、人手不足への対応もあるとみられ、昨年夏の前年比1.7％を上回り3年連続の増加となった。

業種別にみると、製造業では589,550円と、前年の542,860円から8.6％の増加となっ

た。非製造業では451,900円で前年の442,353円から2.2%の増加となった。金額、増加率とも製造業が非製造業を上回っている。

2018年夏のボーナス一人当たり支給額

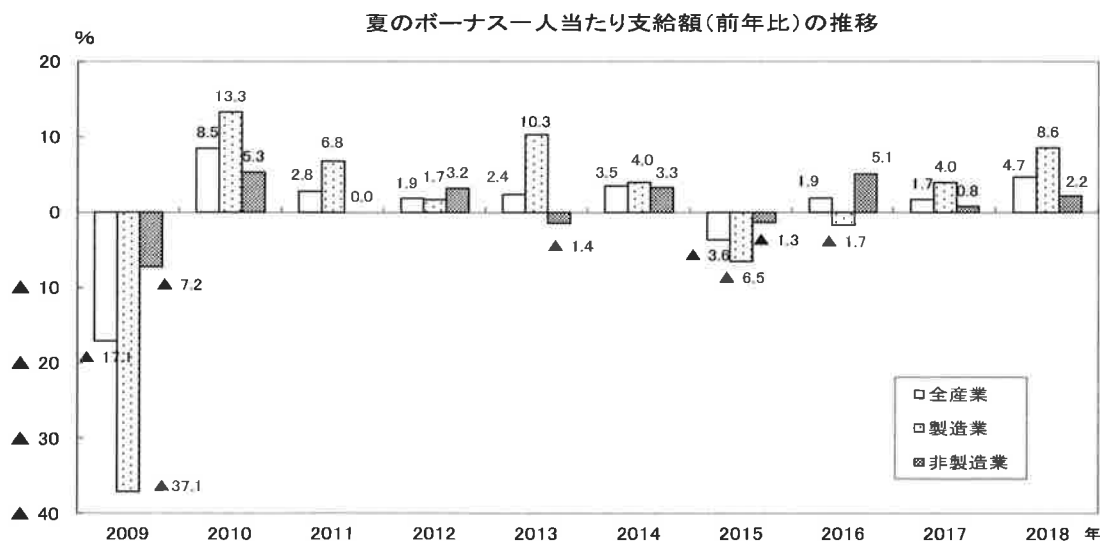
(社、円、%)

	企業数	一人当たり支給額		
		2018年	2017年	前年比
全産業	164	501,142	478,624	4.7
製造業	63	589,550	542,860	8.6
非製造業	101	451,900	442,353	2.2

(3) 夏のボーナス一人当たり支給額(前年比)の推移

夏のボーナス一人当たり支給額(前年比)の推移をみると、2009年にリーマンショックによる輸出や生産の落ち込み、雇用環境の大幅な悪化などにより、前年比▲17.1%と大幅な減少となった。その後、売上、利益の改善や雇用調整が進んだことなどから、ボーナス支給を回復する動きがみられ、2014年まで5年連続で改善が続いた。

2015年は消費税後の売上、利益回復の遅れなどから、6年ぶりに減少に転じた。2016年以降は売上、利益改善の動きが続いていることに加え、人手不足感も強まったことから増加となった。本年も引き続き売上、利益が堅調ななか、人手不足感が強まっていることなどから、3年連続の増加となった。



(4) 2018年夏のボーナス支給総額と対象人員

アンケート回答企業の2018年夏のボーナス支給総額は118億50百万円で、当該企業の前年実績113億41百万円から4.5%の増加となった。前年夏の前年比+4.3%を上回り、3年連続の増加となった。

業種別の支給総額をみると、製造業が前年比7.4%の増加、非製造業は同2.4%の増加となった。支給対象人員は全体では前年比0.2%の減少、製造業で同1.1%の減少、非製造業で同0.3%の増加となった。支給総額では製造業で比較的大きな増加となったが、支給人員では減少となった。支給人員が減少となったため、支給総額の増加率は、一人当たり増加率を下回った。

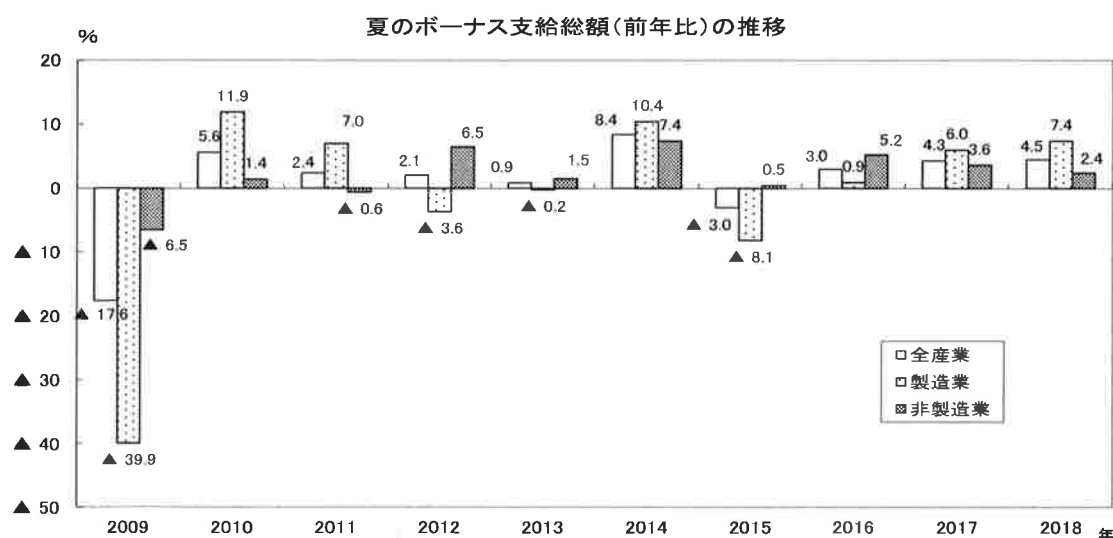
2018年夏のボーナス支給総額と支給対象人員

(百万円、人、%)

	支 給 総 額			支 給 対 象 人 員		
	2018年	2017年	前年比	2018年	2017年	前年比
全 産 業	11,850	11,341	4.5	23,646	23,695	▲ 0.2
製 造 業	4,987	4,642	7.4	8,459	8,551	▲ 1.1
非製造業	6,863	6,699	2.4	15,187	15,144	0.3

(5) 夏のボーナス支給総額（前年比）の推移

夏のボーナス支給総額（前年比）の推移をみると、2009年に▲17.6%と大きな落ち込みとなった後、持ち直しが続き2014年まで5年連続の増加となったが、2015年は一人当たり支給額同様5年ぶりの減少となった。



2016年に一人当たり支給額同様2年ぶりに増加となり、その後も売上、利益改善の動き、人手不足感の強まりから本年も3年連続で増加となった。

(6) 2018年冬のボーナス支給予定

2018年冬のボーナス支給予定については、2017年冬のボーナスに比べて、「増加」21.2%、「変わらない」63.1%、「減少」10.1%、「支給しない」5.5%となり、「増加」としたところが「減少」としたところを上回った。売上、利益の改善、人手不足への対応などから、今冬のボーナスについても、引き続き「増加」を予定しているところが多い。業種別では、製造業で「増加」とするところが多かった。

2018年冬のボーナス支給予定

単位：%

	増加	変わらない	減少	支給しない
全産業	21.2	63.1	10.1	5.5
製造業	32.5	55.0	6.3	6.3
非製造業	14.6	67.9	12.4	5.1

別 表

業種別対象・回答企業数（2018年夏のボーナス支給について）

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	961	221	100.0	88.7
製 造 業	316	82	37.1	93.9
食 料 品	37	7	3.2	100.0
織 維	12	3	1.4	100.0
化 学	30	5	2.3	100.0
窯 業 ・ 土 石	9	0	0.0	-
鉄 鋼	9	1	0.5	100.0
非 鉄 金 属	9	4	1.8	100.0
金 属 製 品	19	6	2.7	100.0
一 般 機 械	35	7	3.2	100.0
電 気 機 械	37	13	5.9	92.3
輸 送 機 械	33	10	4.5	60.0
精 密 機 械	14	3	1.4	100.0
木 材 ・ 木 製 品	9	4	1.8	100.0
紙 ・ 紙 加 工 品	12	4	1.8	100.0
印 刷	27	4	1.8	100.0
そ の 他 製 造	24	11	5.0	100.0
非 製 造 業	645	139	62.9	85.6
卸 売	98	23	10.4	91.3
小 売	88	21	9.5	42.9
建 設	70	20	9.0	100.0
不 動 産	60	11	5.0	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	85	13	5.9	100.0
電 気 ・ ガ ス	14	6	2.7	100.0
情 報 通 信	53	4	1.8	100.0
飲 食 店 ・ 宿 泊	43	7	3.2	85.7
サ ー ビ ス	134	34	15.4	85.3